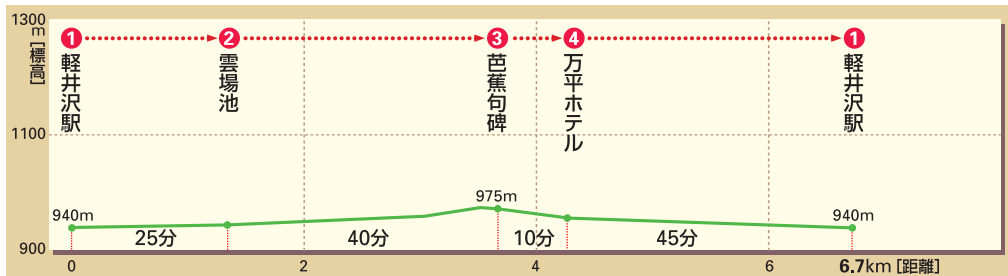


# 1 新・旧軽井沢一周

軽井沢駅を起点に繁華街や静かな裏通りを一周して高原の街の趣を満喫する



スタートは軽井沢駅。軽井沢駅前と旧軽井沢の間に広がる新軽井沢、四季折々に風情ある雲場池、軽井沢の中心的存在である旧軽井沢、避暑客らに親しまれた散歩道などを巡り軽井沢駅へもどる。

軽井沢駅①から旧軽井沢方面へまっすぐ延びる軽井沢本通りに入って10分ほど歩き、新道バス停がある東雲交差点を左へ入る。モミの並木道を進み、雲場川の橋を渡ると右に雲場池②が広がる。カエデなどの木立に囲まれ、新緑、紅葉のころはとりわけ美しい。

池に沿って北へ進み、水源の御膳水へ。みごとにモミの並木が続く別荘地を抜けると旧軽井沢銀座北側の裏通りに入る。銀座通りに出たら、左手の芭蕉句碑③からまた裏通りに入るが、ショー記念礼拝堂などに立ち寄っていくのもよい。

矢ヶ崎川東岸のお気持ちの道を南下して西岸に渡り、なかむら橋で東岸へもどって万平通りへ出たら、左へ行くと万平ホテル④に着く。万平通りを南下し、矢ヶ崎川に沿った、ささやきの小径に入り、さらに南下して国道18号の裏通りを軽井沢駅①へ。

**アドバイス** コースの中間点である旧軽井沢までの前半、逆に後半のみを歩いてもよいし、②旧軽井沢銀座散策コース、③新軽井沢から三笠コースなどと適宜組み合わせて歩くのもよい。



▲ アメリカの建築家A・レーモンドが設計、1935年(昭和10)に建てられた聖パウロ教会



▲ 旧軽井沢銀座の中ほどに建つ軽井沢観光会館。観光案内や展示、有料トイレがある